

要 旨

試験委託者
環境庁

表 題

p-ジクロロベンゼンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する延長毒性試験—21日間

試験番号

EFP95003

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.204 「魚類延長毒性試験—14日間」 (1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： p-ジクロロベンゼン
- 2) 方式： 流水式 (定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用)
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 試験濃度： 対照区、^{修正}剤対照区 (助剤濃度、85.7mg/L)、0.25、0.50、1.0、2.0、
および4.0mg/L (濃度公比：2.0)
- 5) 暴露期間： 21日間
- 6) 試験水槽： 5.0 L容ガラス製水槽 (内寸約 21×16×23cm：使用時、水面にガラス板を
設置)
- 7) 生物数： 20尾/濃度区
- 8) 照明： 16時間明/8時間暗 (室内光)
- 9) エアレーション： 無し
- 10) 温度： 24±1℃
- 11) 試験液中の被験物質の分析：ガスクロマトグラフ質量分析計 (GC・MS) 法

結 果

- 1) 21日間の最小致死濃度 = ^{1.7}~~0.9~~mg/L
- 2) 21日間の最小作用濃度 = ^{1.7}~~0.9~~mg/L 修正
- 3) 21日間の最大無作用濃度 (NOEC) = ^{0.9}~~0.50~~mg/L
- 4) 7日間の半数致死濃度 (LC50) = 1.8mg/L (95%信頼区間: 1.5mg/L~2.1mg/L)
- 5) 14日間の半数致死濃度 (LC50) = 1.6mg/L (95%信頼区間: 1.4mg/L~1.9mg/L)
- 6) 21日間の半数致死濃度 (LC50) = 1.4mg/L (95%信頼区間: 1.2mg/L~1.7mg/L)

(上記濃度は、全て実測値に基づく値)